

小中一貫教育

教育課程の全面実施

学びでつなぐ たしかな連携へ

平成22年4月から小中一貫教育の教育課程が全面実施になります。

☎ 小中一貫教育推進室 ☎ 398

市では、平成19年度から小中一貫教育が導入され、教育特区による教育課程を段階的に実施してきました。この間、市独自の教育課程（英語活動、えらべる科、ふるさと科）の一部実施や中学校ブロッックによる研究、発表会など、様々な取り組みを行ってきました。

これらの研究成果を踏まえ、平成22年4月から小中一貫教育の教育課程が全面実施になります。

■小中一貫教育って？

○小中学校をつなぎ、義務教育9年間にわたる連続性・系統性を生かした学習指導、生徒指導の充実により「学力の向上」と「豊かな心の育成」を目指します。

○義務教育9年間の現行の6



なかしおジョイント教室（中川小と潮止中）

・3制から4・3・2制として考えます。これは、教職員が学びのくくりとして認識し、小5、小6、中1を結びつけながら指導していくための理念です。

■教育課程の全面実施って？

○各教科の学習は、すべての学年において現行の学習指導要領に基づいて実施します。

○小学校1、2年生は、学習内容や時間数の変更はありません。

○小学校3年生から教育課程特別校指定(注)により、小中学校の「総合的な学習の時間」と中学校の「選択教科」の間を学校や地域の特色を生かした「英語活動」「えらべる科」「ふるさと科」と「特別活動」の時間増に充て、全小中学校で学びます。

○市内小中学校を5ブロックにわけ、小中一貫教育の研究を継続して進めていきます。

□英語活動

コミュニケーション能力の育成や望ましい人間関係づくりを目的として実施します。

□えらべる科

基礎基本の定着と、子どもたちの興味・関心（例：食育科や情報科など）を生かした新たな内容を選択して学びます。

□ふるさと科

人とのふれあいを通し、環境や福祉、文化の分野で「ふるさと八潮」を各学年の発達段階に応じて学びます。

□特別活動

交流活動などを通して、豊かな心の育成を図ります。

(注)教育課程特別校指定

学校または地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施することができると認められる学校です。八潮市では、平成18年11月16日に「八潮市小中一貫教育特区」が認定され、平成21年2月23日に「教育課程特別校」が承認されました。

■「八潮Basic」、「生活学習ガイド」

今年度の全面実施に合わせて、平成20年度から教職員が2年間をかけて基礎学力問題集「八潮Basic」と「生活・学習ガイド」を作成しました。

「八潮Basic」は、市が独自に作成した国語と算数・数学の基礎学力問題集です。3、4年生版、5、6、7年生版、8、9年生版を作成し、「えらべる科」などで活用します。

「生活・学習ガイド」は1年生から9年生（中学3年生）までの発達段階に応じ、一貫性のある生活・学習態度を身につけるための目標として作成し、日常的に活用します。

「八潮Basic」は、全児童生徒に、今月中に学校を通じて配布します。

■平成22年度の取り組み

これまで、小中合同あいさつ運動や交流授業など、小中学校が連携し様々な活動を行ってきました。今年度も各学校の特色に合わせた事業のほか、市で統一して行う児童生徒のジョイント教室や教職員のジョイント研修など新たな取り組みを実施する予定です（実施日は予定）。

- ・ 中学校入学説明会および第1回八潮市ジョイント教室（12/2木）
- ・ 第2回ジョイント教室（2/16水）
- ・ 八潮市教職員合同研修会（8/26木）
- ・ 教職員ジョイント研修会（異校種体験研修）



小中交流授業（平成21年度）
進学先の中学校で英語の授業を受ける小学校6年生たち

生活・学習ガイド



八潮Basic

単位：時間/年

各教科等	英語活動	えらべる科	ふるさと科	特別活動
小学校1年				34
〃 2年				35
〃 3年	17	48	25	40
〃 4年	17	53	25	40
〃 5年	35	40	25	45
〃 6年	35	40	25	45
中学校1年(7年)		25	25	40
〃 2年(8年)		60	20	40
〃 3年(9年)		120	15	40

注：現行の学習指導要領に基づいて実施

■平成22年度の教科
各教科については、現行の学習指導要領に基づいて実施し、「英語活動、えらべる科、ふるさと科、特別活動」は、左表のとおり実施します。

- ・ 小中一貫教育懇談会（年6回）
- ・ 市内全小中学校小中一貫教育研究指定
- ・ 潮止中ブロック（中川小・潮止中）小中一貫教育研究会（11/30火）